

ニューズレター No.82

発行人 寺田 貢

2015(平成 27)年 12 月 15 日発行

日本リメディアル教育学会, ニューズレターNo.82 をお届けいたします。今回は,

○第 4 回関東・甲信支部会支部大会開催報告
についてお知らせいたします。

第 4 回関東・甲信支部会支部大会開催報告

関東・甲信支部会の第 4 回支部大会を下記のとおり開催いたしました。

1. 日時:2015 年 11 月 28 日(土)13 時 00 分~17 時 00 分
2. 会場:江戸川大学
3. プログラム
12:30 ~ 13:00 受付
13:00 ~ 13:15 開会行事・展示企業紹介
13:30 ~ 14:15 研究発表 I
14:25 ~ 15:35 研究発表 II
15:45 ~ 16:55 研究発表 III
4. 研究発表(1 件 20 分, 質疑応答含む)

<第一会場>

研究発表 I 座長:鈴木政浩(西武文理大学)

- 1)「下位合同クラス 60 名の授業を可能にした『内容重視授業』(Content Based Instruction に基づく教材開発)」原口友子(常葉大学)

研究発表 II 座長:國弘保明(拓殖大学)

- 2)「英語習熟度の低い学生からアウトプットを引き出す授業の試み(Learners' Lives as Curriculum Model の応用)」小塚暁絵(多摩大学)
- 3)「思考力を育成する英語リメディアル授業を目指して」中西千春(国立音楽大学)
- 4)「英語リメディアル授業における時事ニュースを活用したグループ活動」宇佐美彰規(武庫川女子大学)

研究発表 III 座長:高松正毅(高崎経済大学)

- 5)「英語授業学研究再考(学習者が望む授業者主導型授業の

枠組)」鈴木政浩(西武文理大学)

- 6)「Thinking Critically about Critical Thinking in TESOL: Toward an Integrative Definition of Critical Thinking between East and West」小田めぐみ(国際短期大学)
- 7)「ライティング教育における日本語と英語のコラボレーション授業の可能性」佐藤尚子(千葉大学)・森山淳子(千葉大学)

<第二会場>

研究発表 I 座長:佐藤尚子(千葉大学)

- 1)「TOEIC 授業を通じた IT カタカナ用語の語彙習得に関する一考察」南部匡彦(国際短期大学)
- 2)「事例報告 短期語学研修で得られた教育効果に関して」高橋美智子(二松学舎大学)

研究発表 II 座長:河住有希子(日本工業大学)

- 3)「e-Learning の継続を促進する独習指導(楽しさと ARCS モデルを用いて)」竹口恵理子(熊本大学)
- 4)「演奏時のテンポのゆらぎを可視化した楽譜を用いた学習手法に関する試み」和田悌(九州情報大学)・湯澤泰生(久留米大学)
- 5)「学内施設を利用した新入生ウェルカムプログラムの取り組み(学生スタッフの社会人基礎力伸長の観点から)」白川はるひ(戸板女子短期大学)・布施梓(東京学芸大学)・根岸彩(野外活動指導者)

研究発表 III 座長:福田靖(江戸川大学)

- 6)「私立の経済系 1 年生に対する経済数学の基礎強化法に関する 1 考察」小川健(専修大学)
- 7)「生命倫理, 特に死生学分野の教育方法についての考察」関智征(明治学院大学)
- 8)「医学教育分野におけるリメディアル教育の役割」岡田弥生・廣井直樹・逸見仁道・杉山篤・平敬宏・高松研・佐藤二美(東邦大学)

(関東・甲信支部会 支部長 高松 正毅)

会誌への論文等の投稿について

会誌『リメディアル教育研究』では、リメディアル教育に関する研究、教材や教授法の開発と評価、実践の報告などについての原稿を募集します。投稿は本会の会員が筆頭者であるものに限り

(編集委員会が特に認めた場合は、非会員からの論文等を掲載することもあります)。掲載の採否は、査読審査を経たのち、編集委員会において決定します。原稿料の支払い、掲載料の徴収はいたしません。

【文責】寺田 貢

【編集】大野 早苗